

※水色と黄色のセルは回答必須。薄緑色セルは任意。申請書の段階から項目3に変更があった場合、直接入力の上書きして下さい。

(一財)全国地域情報化推進協会 御中

報告日 2019年8月9日

派遣決定番号

地域情報化アドバイザー制度活用報告書(2日目)

地域情報化アドバイザー制度の活用実績について、下記のとおり報告します。

記

1. 申請団体情報

1-1. 申請団体

団体名	指宿市	代表者名	市長 豊留 悦男
担当者部署	総務部	連絡先電話番号	0993-22-2111 (内線127)
担当者役職		担当者氏名	
		連絡先E-mail	
住所	891-0497 鹿児島県指宿市十町2424番地		

1-2. 推薦団体(「区分」が「協議会」または「NPO・商工会・大学等」の場合のみ入力)

2. 派遣アドバイザーに対する評価と要望

支援を受けたアドバイザーに対する評価をお願いします。

アドバイザー	勝 真一郎
評価	大変よい
上記評価の理由(どのようなところがよかったか等詳細に)	講演では、フリーランスについての概要説明、働き方、暮らし方のスタイル、指宿はフリーランスにとって魅力的かどうかについて、わかりやすく提言をいただいた。奄美市でフリーランス支援に取り組んできた実績を踏まえ、指宿の持つポテンシャルと今後の方向性について、具体的なアドバイスをいただいた。
アドバイザーへの要望事項	引き続き、メール等で相談に乗っていただきたい。

3. 地域情報化アドバイザー派遣実績

	派遣日	開始時刻	終了時刻	内休憩時間(分)	活動時間(分)
3-1. 活動	2019年8月1日	9時00分	17時00分	30	450
3-2. 派遣場所	会場名	ふれあいプラザなのはな館		最寄駅	二月田
	所在地	鹿児島県指宿市東方9300番地1			
	最寄駅からの交通手段	市公用車による送迎			

4. 報告書に関するAPPLICホームページへの掲載許可

掲載許可	<input checked="" type="radio"/> 掲載可
------	--------------------------------------

5. 依頼内容及び支援を受けたことによる成果・効果

5-1. 支援を受けた対象者	属性(職員、一般、企業等)について【自由記述】 一般市民、高校生、地域おこし協力隊、職員、市外在住フリーランス	人数 40人
5-2. 支援を受けるにあたって目指した成果と実勢に支援を受けたことで改善又は解決した成果・効果	事業の課題・問題点(具体的にご記入下さい) 奄美市の「フリーランスが最も働きやすい島化計画」の成果と課題についてご講演いただくとともに、指宿市で同様の事業を行う場合の強みや重点策についてご助言、ご指導をいただきたい。また、市総合戦略改訂に向けたアドバイスをいただきたい。(若者の移住・定住、インバウンド受入態勢整備等)	
支援により目指す成果(具体的にご記入下さい)	今回の支援(1~3回目)を通じて、フリーランスの誘致・育成やインバウンド誘致に取り組むメリット、デメリットや受け入れる場合の地域の体制づくりの課題等を整理し、他の施策と合わせて「指宿市版 まち・ひと・しごと創生総合戦略」に位置付けることを目標とする。	
アドバイザーに支援を受けた内容(具体的にご記入下さい)	・地域おこし協力隊との意見交換 ・市内資源視察 ・講演:「デジタルを武器にした新しい生活スタイルと指宿の暮らし~フリーランスが住みやすいまちづくりへ~」 ・ワークショップでの助言・指導	
支援を受け改善又は解決された内容(具体的にご記入下さい)	講演では、フリーランスの特徴や働き方・暮らし方、活用策等について、解説していただいた。また、指宿市でフリーランス支援に取り組む優位性やマイナス面を列記することで、指宿市がフリーランス支援に取り組むポテンシャルや、取り組むべき方向性、重点施策等について詳しく解説していただいた。	
具体的な成果物	最も当てはまるものをリストより選択下さい。 市内で活躍するフリーランス等がつながるきっかけとなった。 フリーランスに対する理解が深まった。	⑥途中段階であり、具体的な成果物はできていない
改善又は解決されなかった内容 持ち越しとなった内容(具体的にご記入ください)	フリーランスのニーズや指宿のポテンシャルについては、講演等を通じて理解が深まったが、それを行政の戦略としてどう事業化していくかについては、3回目でさらに深掘りする予定。	
アンケートの内容と分析結果	講演・セミナー又は個別の事業支援の実施にあたりアンケートを行った場合は、その内容と分析結果についてご記入下さい。(EXCELやPDFでの分析結果を添付されても結構です。)アンケートを行わなかった場合はその理由をご記入下さい。 参加者へアンケートを行い、28名から回答をいただいた。アンケート内容、回答状況については、別紙のとおり。	
5-3. 今後の計画	最も当てはまるものをリストより選択下さい	②次年度に予算化を図り推進する
事業の最終的な目指す姿	フリーランスに優しいまちづくり	

6. 地域情報化アドバイザー支援の様子

今回の派遣における地域情報化アドバイザーの支援の様子がわかる「写真（JPEG）」を次ページに数枚程度貼り付けて下さい。



※水色と黄色のセルは回答必須。薄緑色セルは任意。申請書の段階から項目3に変更があった場合、直接入力の上書きして下さい。

(一財)全国地域情報化推進協会 御中

報告日 2019年8月9日

派遣決定番号

地域情報化アドバイザー制度活用報告書(3日目)

地域情報化アドバイザー制度の活用実績について、下記のとおり報告します。

記

1. 申請団体情報

1-1. 申請団体

団体名	指宿市	代表者名	市長 豊留 悦男
担当者部署	総務部	連絡先電話番号	0993-22-2111 (内線127)
担当者役職	主査	担当者氏名	鶴田 重孝
住所	891-0497 鹿児島県指宿市十町2424番地		
連絡先E-mail			

1-2. 推薦団体 (「区分」が「協議会」または「NPO・商工会・大学等」の場合のみ入力)

2. 派遣アドバイザーに対する評価と要望

支援を受けたアドバイザーに対する評価をお願いします。

アドバイザー	勝 眞一郎
評価	大変よい
上記評価の理由(どのようなところがよかったか等詳細に)	観光課では、インバウンド誘致に向けた情報発信や受入体制整備、DMOの役割、今後の誘致戦略等について、奄美市の事例をもとに具体的でわかりやすいアドバイスをいただいた。 市長公室では、フリーランス支援についての具体的な切り口、施策、誘致方法等について、ホワイトボードに図解してわかりやすくまとめていただいた。また、会議後は、前日のセミナーに参加したフリーランスの女性(市内でシェアオフィスを立ち上げ)と今後のフリーランス支援の進め方について相談する機会をつくっていただいた。
アドバイザーへの要望事項	今後も引き続き、メール等で進捗状況をお伝えするので、相談に乗っていただきたい。

3. 地域情報化アドバイザー派遣実績

	派遣日	開始時刻	終了時刻	内休憩時間(分)	活動時間(分)
3-1. 活動	2019年8月2日	10時00分	18時00分	60	420
3-2. 派遣場所	会場名	指宿市役所		最寄駅	二月田
	所在地	鹿児島県指宿市十町2424番地			
	最寄駅からの交通手段	市公用車による送迎			

4. 報告書に関するAPPLICホームページへの掲載許可

掲載許可	<input checked="" type="checkbox"/> 掲載可
------	---

5. 依頼内容及び支援を受けたことによる成果・効果

5-1. 支援を受けた対象者	属性(職員、一般、企業等)について【自由記述】 職員、地域おこし協力隊	人数 6人
5-2. 支援を受けるにあたって目指した成果と実勢に支援を受けたことで改善又は解決した成果・効果	事業の課題・問題点 (具体的にご記入下さい) 奄美市の「フリーランスが最も働きやすい島化計画」の成果と課題についてご講演いただくとともに、指宿市で同様の事業を行う場合の強みや重点策についてご助言、ご指導をいただきたい。また、市総合戦略改訂に向けたアドバイスをいただきたい。(若者の移住・定住、インバウンド受入態勢整備等)	
支援により目指す成果 (具体的にご記入下さい)	今回の支援(1~3回目)を通じて、フリーランスの誘致・育成やインバウンド誘致に取り組むメリット、デメリットや受け入れる場合の地域の体制づくりの課題等を整理し、他の施策と合わせて「指宿市版 まち・ひと・しごと創生総合戦略」に位置付けることを目標とする。	
アドバイザーに支援を受けた内容 (具体的にご記入下さい)	・インバウンド誘致、受け入れ態勢等に関する助言・指導(観光課) ・フリーランス支援に関する助言・指導(市長公室、地域おこし協力隊)	
支援を受け改善又は解決された内容 (具体的にご記入下さい)	観光課では、インバウンド向け満足度調査の手法として「WEB」利用の例を紹介していただいた。WEBを利用することで配る手間が省け、集計の際にも入力の手間が省けるため、大変効率的である。また、情報発信の手法についても、インスタグラムの投稿に対し、こまめにレスポンスをいれることで満足度が上がるということも教えていただいた。市長公室では、フリーランス支援について、モデル地区の設定や広報戦略、市内事業所とフリーランスのマッチングの可能性など、具体的にわかりやすくアドバイスをしていただいた。また、民間事業者でキーパーソンとなりうる人材と引き合わせていただき、今後の展開に希望がもてた。	
具体的な成果物	最も当てはまるものをリストより選択下さい。 ・フリーランス支援施策の取組の方向性(イメージ)がつかめた。 ・フリーランス支援施策を進めていく上での民間キーパーソンが見つかった。	⑥途中段階であり、具体的な成果物はできていない
改善又は解決されなかった内容 持ち越しとなった内容 (具体的にご記入ください)	観光課では、インバウンド施策の充実を図るとともに、官民一体となったDMO組織立ち上げに向けて引き続き検討を行う。 市長公室では、「フリーランスに優しいまちづくり」に官民一体となって取り組むため、今年度改訂予定の市総合戦略に重点施策として位置付けることを目指す。そのうえで、次年度以降、実現可能な施策から段階的に事業化していきたい。	
アンケートの内容と分析結果	講演・セミナー又は個別の事業支援の実施にあたりアンケートを行った場合は、その内容と分析結果についてご記入下さい。(EXCELやPDFでの分析結果を添付されても結構です。) アンケートを行わなかった場合はその理由をご記入下さい。	
5-3. 今後の計画	最も当てはまるものをリストより選択下さい	②次年度に予算化を図り推進する
事業の最終的な目指す姿	フリーランスや外国人に優しいまちづくり	

6. 地域情報化アドバイザー支援の様子

今回の派遣における地域情報化アドバイザーの支援の様子がわかる「写真（JPEG）」を次ページに数枚程度貼り付けて下さい。

